

子どものネットトラブルを防ごう！

事例 1

小学生の子どもが、家族共用のタブレット端末で、オンラインゲームの有料アイテムを次々に購入し、30万円以上も課金していた。

タブレット端末には、クレジットカード情報が登録されたままになっており、子どもでも利用できるようになっていた。



事例 2

クレジットカード明細に身に覚えのない高額な請求があった。カード会社に問い合わせると、ライブ配信アプリでの課金だった。中学生の娘がライブ配信を見ているのは知っていたので、娘に聞いた。

親のクレジットカードを持ち出して、何度も投げ銭をしたことを認めた。100万円近い請求になっている。

アドバイス

- 子どもが保護者に内緒でインターネットサイトやコンテンツを利用しトラブルになることがあります。
- 通信事業者が設けている「ペアレンタルコントロール」「フィルタリング機能」などを活用し、必要な範囲で利用制限をかけることが有効です。
- 子どもは、クレジットカードを利用しても、お金を支払っているという意識がない場合がみられます。クレジットカードを使用することはどういうことかを理解させましょう。
- 保護者は、端末等のクレジットカード情報の登録状況やキャリア決済の利用限度額を確認するとともに、暗証番号の管理を徹底しましょう。